

## 日本の子どもの笑顔を守るための公開質問状

2012.5.20

子ども笑顔ネット

子ども笑顔ネットは、沖縄県在住のお母さん達を中心に結成された団体です。幼い子どもをもつ母親達が、沖縄県における震災がれき受け入れ検討のニュースをきっかけにして結成しました。

沖縄県において、震災がれきを受け入れた場合、子どもたちが様々な影響を受けることが予想されます。受け入れにおいては、「安全性の立証」と「市民の合意」が必要だと思います。

子どもをもつ母親は、消費者としては、安心・安全な食べものを選ぶ傾向があります。沖縄県だけでなく、全国の母親達が、沖縄の「安全・安心」の食材を求めています。これは、長期に渡る沖縄の農林水産業の振興につながります。沖縄では農林水産業や観光業は大切な産業です。保護者の仕事が安定していることも、子どもの健やかな成長にとって大切です。

被災地の母親達が最も願っているのは「安全・安心な食材」と「安全・安心な水や空気のある保養地」ではないでしょうか。沖縄県では、被災地の子ども達を受け入れる保養プログラムが幾つも計画されています。

沖縄の特性を生かした被災者支援をするためには、食材や水や空気の安心・安全を立証する必要があります。子ども笑顔ネットは「沖縄県在住のお母さん」「全国のお母さん」「被災地のお母さん」達の願いを届けるために結成されました。

子どもの笑顔を守るため、食材と環境と雇用の「安全・安心」について、具体的にお答え頂けると幸いです。5月24日の公開質問会までに文書でお答え頂けると幸いです。もし、回答が遅れる場合にはご連絡頂けると幸いです。

## 公開質問状回答用紙

1、 沖縄県で震災ガレキの焼却がなされた場合、沖縄県産食材を使用した給食に対する不安が高まることが予想されます。

1-1

この場合、給食の検査などはされるご予定はありますか？ ある ない

1-2

どのような方法で検査をする予定ですか？（○をつけて下さい）

- ・検査方法： 外部機関に委託 or 検査機器を購入
- ・頻度： 毎日 週に1-2回程度 月に1-2回程度
- ・検出限界値： 1ベクレル程度 5ベクレル程度 10ベクレル程度

2 被災地の子ども達を支援する保養プロジェクト

震災ガレキを受け入れた場合、観光客や保養に来る被災者の方々に、沖縄の環境の安全性を立証する必要があると思われれます。

2-1 首里城などの観光地の土壌測定をされますか？

（○をつけて下さい）

する しない

2-2 海辺の砂や水質測定をされますか？（○をつけて下さい）

する しない

3 保護者の雇用

震災ガレキを受け入れた場合、観光客が沖縄を忌避したり、県産材の購入を控える可能性があります。現在、震災ガレキ受け入れ検討のニュースだけでも、観光を控える動きがあります。子ども達の保護者の雇用が脅かされた場合、補償などをするべきだと思われれますか？（○をつけて下さい）

補償する 補償しない

子どもの笑顔を守るには「安心・安全な食べもの」と保護者の「安定した仕事」と「健やかな環境」が必要です。沖縄県で震災ガレキを受け入れた場合、雇用や食材や環境の「安心・安全・安定」が相対的に低くなることが予想されます。

ぜひ、子どもの笑顔を守るために、最善の策を探して頂けると幸いです。